

第4次総合計画基本計画改訂版 見直し箇所一覧

黄色：新設した記述 クリーム色：追記・加筆・修正した記述・項目 【 】：策定後の主な動向を踏まえた見直し

第5回総計作業部会
資料6 R5.5

大綱	政策			施策		施策指標	
	政策名称	目標 (めざすまちの姿)	現状と課題	施策名称	内容説明	指標名	目標値
大綱1 人権・市民自治	政策1 平和と人権を尊重するまちづくり	市民一人ひとりの人権が尊重され、だれもが対等な社会の構成員として平和に安心して暮らせるまち	変更なし	1 非核平和への貢献	変更なし	平和祈念資料館の年間利用者数	変更なし
				2 人権の保障	「新たな人権課題」という表記の「新たな」を削除	人権に関する啓発活動や講演会などへの年間参加者数	変更なし
						人権をテーマにした標語やポスターなどの作品を市の事業へ応募した小・中学校の数	変更なし
	3 男女共同参画の推進	変更なし	市職員の管理職（課長代理級以上）における女性の割合	変更なし			
			交際相手からの暴力（デートDV）に関する中学生を対象とした啓発講座の実施校数	変更なし			
	政策2 市民自治によるまちづくり	市民自治の確立に向けて、市民と行政とがそれぞれの役割を担うとともに、市民自らが地域課題の解決に向けて行動するまち	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による地域活動への影響と、ICTをはじめとした地域活動の形態の多様化について追記。さらに、有事の際の助け合い等、地域コミュニティの有用性について補記。 【2-1 コロナの影響】 【2-2 コロナの影響（DX）】	1 情報共有の推進	行政情報の利活用について追記	市のホームページの閲覧者数（月平均）	上方修正
				2 市民参画・協働の推進	変更なし	市民委員の公募を行っている審議会などの割合（公募できないものを除く）	変更なし
						市民公益活動センター（ラコルタ）の年間利用者数	変更なし
	3 コミュニティ活動への支援	変更なし	自治会加入率	変更なし			
			コミュニティセンターや市民センターなどコミュニティ施設の年間利用件数	変更なし			
大綱2 防災・防犯	政策1 災害に強く安心して暮らせるまちづくり	市民一人ひとりの防災意識と地域防災力・減災力が高まり、災害に強いまち	危機事象の例として武力攻撃事態を追加するとともに、社会的弱者への配慮の必要性について補記。さらに、災害対応体制の拡充の内容として危機管理センターの整備や災害用備蓄に関する取組を追記し、避難行動をより確実にするための取組内容の詳細を追記。地域における防災活動への、若者や女性の参画を推進すると追記。 【3-1 災害の頻発】 【4 SDGs】	1 危機管理体制の充実	業務継続計画と受援計画について追記	各種団体との防災協定締結数	変更なし
				2 防災力・減災力の向上	若者、女性の参画、事業者支援などについて追記	防災協定締結団体の吹田市地域防災総合訓練参加率【補完追加】	変更なし
						連合自治会単位での自主防災組織の結成率	変更なし
	3 消防・救急救命体制の充実	高齢化に伴って増加する救急出動件数への対応について追記	消防団員数	変更なし			
			普通救命講習などの年間受講者数	変更なし			
	政策2 犯罪を許さないまちづくり	市民一人ひとりの防犯意識や犯罪を許さないという気運が高まり、だれもが安心安全に暮らせるまち	特殊詐欺の手口の巧妙化や、インターネットを利用した犯罪の内容について補記するとともに、成年年齢下げに伴う若者を狙ったトラブルについて追記。	1 防犯力の向上	防犯カメラの設置について追記	防犯に関する講座の年間受講者数	変更なし
女性や子供を狙った犯罪認知件数（声かけ・性犯罪等）【新規】				変更なし			
2 消費者意識の向上	悪質商法や特殊詐欺、成年年齢下げに伴う消費者トラブルについて追記	消費者向けの講座の年間受講者数	変更なし				

大綱	政策			施策		施策指標	
	政策名称	目標 (めざすまちの姿)	現状と課題	施策名称	内容説明	指標名	目標値
大綱3 福祉・健康	政策1 高齢者の暮らしを支えるまちづくり	高齢者が住み慣れた地域ですこやかに、安心して暮らし続けられるまち	変更なし (年度表記の更新のみ)	1 生きがいづくりと社会参加の促進	変更なし	高齢者生きがい活動センターの年間利用者数	目標値修正 予定
					変更なし	生きがいがある高齢者の割合【新規】	—
				2 暮らしを支える支援体制の充実	変更なし	後期高齢者のうち、要支援・要介護の認定を受けている人の割合	目標値修正 予定
	政策2 障がい者の暮らしを支えるまちづくり	障がいの有無にかかわらず、住み慣れた地域で安心して育ち、学び、働き、暮らし続けられるまち	時点修正を行うとともに、障がいに対する啓発事業や合理的配慮、就労支援等の具体的な取組内容を補記。	1 生活支援など暮らしの基盤づくり	医療的ケアを要する障がい者について追記	ホームヘルプなど訪問系サービスの利用者数（月平均）	変更なし
						グループホームの利用者数（月平均）	変更なし
				2 社会参加の促進	変更なし	ショートステイ利用者数【新規】	—
	政策3 地域での暮らしを支えるまちづくり	地域福祉活動と総合的な生活保障により、だれもが地域で互いに支え合いながら、安心して暮らせるまち	地域福祉において、地域住民や地域で活動する多様な主体、関係機関等の連携・協働により地域全体でのささえあう仕組みを構築する必要性について追記。 【5 個別計画等】	1 地域福祉の推進	「地域共生社会の実現」を追加	移動支援事業の利用者数（月平均）	変更なし
						「就労継続支援（非雇用型）事業所」における工賃の平均月額	変更なし
				2 生活困窮者への支援と社会保障制度の適正な運営	変更なし	小地域ネットワーク活動の延べ参加者数（地区福祉委員含む）	変更なし
						民生委員・児童委員の充足率【補完追加】	—
						福祉避難所の支援を行うボランティアの人数	変更なし
	政策4 健康・医療のまちづくり	市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組み、生活の質を高めながら健康寿命を伸ばし、すこやかで安心して暮らせるまち	市の平均寿命・健康寿命が国・大阪府の値を上回ったことや、健康寿命を延ばすことにつながる環境の整備の必要性を追記。また、感染症に向けた予防策、感染拡大防止策、それに対する市民の理解の重要性と、中核市移行により設置した市保健所に関する説明、今後の役割を追記。 【1 - 2 中核市移行（保健所等）】 【5 個別計画等】	1 健康づくりの推進	ライフコース別の課題に応じた取組や健（検）診等の保健サービスの充実等、「健康」につながる仕組みづくりについて明記	災害時要援護者支援に関する協定を締結した地区の割合【補完追加】	—
						特定健康診査（吹田市国保健康診査）の受診率	変更なし
				2 公衆衛生の向上	中核市移行に伴う保健所設置に伴い新設	生活習慣を改善するつもりはない人の割合【置換】	—
						受動喫煙の機会がなかった人の割合【新規】	—
	3 地域医療体制の充実	かかりつけ医の定着促進、病院機能の分化・連携等について明記	【1 - 2 中核市移行（保健所等）】 【5 個別計画等】	4 健都を生かした健康づくりと医療イノベーションの促進	データヘルスの推進や、産学官民連携の取組について追記	結核罹患率（人口10万対）【新規】	—
						地域医療推進に関する講演会などの参加者数（累計）	変更なし
	4 健都を生かした健康づくりと医療イノベーションの促進	かかりつけ医を持つ人の割合【補完追加】	【1 - 2 中核市移行（保健所等）】 【5 個別計画等】	4 健都を生かした健康づくりと医療イノベーションの促進	データヘルスの推進や、産学官民連携の取組について追記	健康増進広場など健都の施設を活用した運動プログラムや健康イベントなどの年間実施件数	上方修正

大綱	政策			施策		施策指標	
	政策名称	目標 (めざすまちの姿)	現状と課題	施策名称	内容説明	指標名	目標値
大綱4 子育て・学び	政策1 子育てしやすいまちづくり	安心して子供を産み育てられ、 すべての子供がすこやかに育つことができるまち	就学前児童数が減少傾向にあること、「吹田版ネウボラ」の説明を大綱3から移動して記載するとともに、妊産婦や子育てにおける問題とその対応に関して多様化していることや、子育てに対する支援策の内容を補記。 【6 子育て・教育施策】	1 就学前の教育・保育の充実	「必要に応じて」の文言追加	保育所などの待機児童数	変更なし
				2 地域の子育て支援の充実	「吹田版ネウボラ」の説明を大綱3から移動することにより、対象に妊産婦を加え、妊娠・出産・育児の正しい知識の提供に関する記載を追加	「子育て支援コンシェルジュ」の年間利用者数	変更なし
				3 配慮が必要な子供・家庭への支援	医療的ケアを必要とする子供、ヤングケアラーについて追記	吹田市で子育てをしたいと思う親の割合【補完追加】	—
	政策2 学校教育の充実したまちづくり	子供たちが新しい時代を生き抜くために必要となる学力、人間性、体力を育むことができるまち	これからの社会において必要な資質の内容としてIoTやAIなどの内容を補記し、いじめ等の課題が喫緊の課題であることや、教育の質を向上させる方法として、教職員の業務の整理と業務に集中できる環境整備、学校施設の老朽化の詳細、教職員を支える組織体制構築の必要性を追記。 【1-1 中核市移行】 【5 個別計画等】 【6 子育て・教育施策】	1 学校教育の充実	子供一人ひとりの特性に応じた支援、新たな学びの場、教職員の働きやすい環境について追記 【2-1 コロナの影響】	授業で学習したことが将来社会に出た時に役に立つと思う小・中学生の割合	変更なし
				2 学校教育環境の整備	インクルーシブ教育や一人ひとりの教育的ニーズに対応できる教育環境について追記	学校へ行くのが楽しいと感じる小・中学生の割合	変更なし
						いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う小・中学生の割合【新規】	—
						小・中学校の校舎及び体育館の大規模改修の実施率	変更なし
						小・中学校のトイレ改修の実施率	変更なし
	政策3 青少年がすこやかに育つまちづくり	家庭、地域、学校の連携・協働のもと、青少年のすこやかな成長を支えるまち	留守家庭児童育成室における現状と課題と、コロナ禍による影響もあり、青少年の活動における担い手不足が発生している現状について追記。 【2-1 コロナの影響】 【6 子育て・教育施策】	1 青少年の健全育成	ひきこもりについて追記	青少年指導者講習会の年間受講者数	変更なし
				2 放課後の居場所の充実	留守家庭児童育成室への「確実な受け入れ」について追記	青少年施設主催イベント・講座などの年間参加者数	変更なし
						留守家庭児童育成室の受入及び待機児童数【文言修正】	—
	政策4 生涯にわたり学べるまちづくり	いつでも、どこでも、だれでも、さまざまな生涯学習活動に取り組むことができるまち	生涯学習の学んだ成果の地域に還元する場について説明を補記。 【5 個別計画等】	1 生涯学習活動の支援	学習成果の発表や活用について追記	市内大学連携講座の年間延べ受講者数【文言修正】	—
				2 生涯学習環境の整備	図書館において、資料の計画的な収集や生涯学習の支援すること等を追記	地区公民館の年間利用者数（オンラインによる講座受講者を含む）【文言修正】	—
						図書館の年間入館者数	変更なし
						市民一人当たりの図書館資料（電子図書を含む）の年間貸出数【新規】	—

大綱	政策			施策		施策指標		
	政策名称	目標 (めざすまちの姿)	現状と課題	施策名称	内容説明	指標名	目標値	
大綱5 環境	政策1 環境先進都市のまちづくり	持続可能な社会の実現に向けた先進的な取組が進められ、良好な生活環境が整ったまち	暑熱環境の悪化や災害の頻発に伴う表現の追記の他、二酸化炭素排出量に関する世界的現状と、市の今後の目標を追記。また、市内人口の増加に伴うごみの増加懸念等、環境に係る諸問題の具体例を追記。また、環境基本計画の改定に伴い、吹田市における環境政策の基本理念としての「もったいない精神」を追記。 【3-1 災害の頻発】 【3-2 暑熱環境の悪化】 【5 個別計画等】	1 脱炭素社会への転換の推進	熱中症の健康被害回避について追記	市域の年間エネルギー消費量	変更なし	
							市域の年間温室効果ガス排出量【新規】	—
							市域の太陽光発電システム設備容量(累計)	変更なし
				2 資源を大切に社会システムの形成	変更なし	「マイバッグ」の持参率	上方修正	
						市民1人当たりの1日のごみ排出量	変更なし	
				3 安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進	変更なし	公害に関する苦情を解決した割合	変更なし	
		「環境美化推進団体」の団体数	変更なし					
大綱6 都市形成	政策1 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり	地域の特性を生かしたまちづくりが進められ、みどり豊かで安全・快適に暮らせるまち	個別計画に沿って、都市公園の整備・管理や共同住宅の適正管理の必要性、緑化に関わる表現を追記。 【5 個別計画等】	1 土地利用誘導と良好な景観形成	変更なし	まちづくりのルール(地区整備計画)の策定地区数[面積]	変更なし	
							景観に関するルール(景観重点地区)の指定地区数[面積]	変更なし
							住宅の耐震化率	変更なし
							空き家のうち腐朽・破損のあるものの割合	変更なし
							倒壊の危険がある空家等の数【補完追加】	—
				長期修繕計画に基づく修繕積立をしているマンション管理組合の割合【新規】	—			
	3 みどりの保全と創出	民有地のみどりの保全、公園施設の管理水準の向上などについて追記	公園などの面積	変更なし				
			「みどりの協定」に基づく取組などを行う団体数	変更なし				
	政策2 安全・快適な都市を支える基盤づくり	道路、水道、下水道などの適切な維持や、公共交通の利便性の向上により、だれもが安全・快適に暮らせるまち	地震等の災害、感染症の感染拡大により、都市基盤の重要性が再認識されたことや、公共交通を取り巻く環境の変化など新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う諸変化について追記。さらに、公共交通の維持に向け利用者・事業者・行政の協力が必要であることを追記。 【2-1 コロナの影響】 【3-1 災害の頻発】 【5 個別計画等】	1 道路などの整備	変更なし	バリアフリー重点整備地区内の主要な生活関連経路などの整備延長	変更なし	
							都市計画道路の整備率	変更なし
2 水道の整備				効果的な調査・点検、水道システムの強靱化等について追記	水道管路の更新延長	変更なし		
						水道基幹管路の耐震化率	変更なし	
3 下水道の整備	官民連携について追記	下水道管路の更新及び長寿命化延長	変更なし					
			雨水排水施設の整備率(1時間に約50mmの降雨に対応)	変更なし				
4 交通環境の整備	持続可能な公共交通ネットワークについて追記	自転車通行空間の整備延長	下方修正					

大綱	政策			施策		施策指標	
	政策名称	目標 (めざすまちの姿)	現状と課題	施策名称	内容説明	指標名	目標値
大綱7 都市魅力	政策1 地域経済の活性化を図るまちづくり	地域経済の活性化が図られ、だれもが働きやすい環境が整ったまち	災害への対策やデジタル化等、現在の世相を踏まえ企業に求められる素養や、行政に求められる支援内容について補記。さらに、多様な働き方ができる環境づくりが求められていることを追記。 【2-1 コロナの影響】 【3-1 災害の頻発】 【5 個別計画等】	1 産業振興と創業支援	変更なし	開業率と廃業率の差	変更なし
				2 就労と働きやすい環境づくりへの支援	働き方改革について追記	市内の事業所数【補完追加】	—
						商店街及び小売市場における空き店舗率	変更なし
				政策2 文化・スポーツに親しめるまちづくり	文化やスポーツを通じて、より豊かな市民生活を営める魅力あるまち	多文化共生の内容に関する説明を補記し、健康寿命の延伸や地域のつながりの強化などスポーツや運動の役割について追記。 【4 SDGs】 【5 個別計画等】	1 文化の振興
	「障がい者就職応援フェア」への参加者数	変更なし					
	2 文化財の保存と活用	博物館のコンテンツのデジタル化について追記 【2-1 コロナの影響】	文化会館（メイシアター）の年間入館者数				変更なし
			市の文化事業に出演・出展した市民の延べ人数【補完追加】				—
	3 地域におけるスポーツの振興	変更なし	外国人等支援施策において支援した延べ人数【新規】				—
			吹田市立博物館の年間入館者数				変更なし
	スポーツイベントやスポーツに関する講座などへの年間参加者数	変更なし					
「社会体育リーダー」など地域におけるスポーツ指導者の延べ認定者数（累計）	変更なし						
各スポーツ施設及び学校体育施設開放事業の年間延べ利用者数【新規】	—						
大綱7 都市魅力	政策3 市民が愛着をもてるまちづくり	まちのさまざまな魅力の向上により、市民が愛着や誇りをもち、住み続けたいと思えるまち	2025年に開催される万博に向けた取組について追記し、「吹田まつり」の表記を「すいたフェスタ」に更新。「シティプロモーションビジョン」と明記するとともに、学生数が多いことによるメリットを補記。	1 魅力の向上と発信	住民同士の関わりや、住み続けたいと思う機会など現時点での市民に目を向けた表現と、魅力の発信について、「多様な手法による効果的な」という文言の追記	すいたフェスタへの協賛・協力団体数（令和元年度までは「吹田まつり」）	変更なし
						すいたフェスタへの参加者数（来場者数）【新規】	—
						「情報発信プラザ（Inforest すいた）」への年間入場者数	変更なし
						すいたんTwitterなどSNSフォロワー数【新規】	—
				2 本市独自の強みを生かしたまちづくり	学生による主体的な取組を促進することを追記	大学との連携による事業やイベントなどの年間実施回数	変更なし
						連携授業等への参加を契機に市政への参画意欲が向上した学生の割合【新規】	—
ガンバ大阪と小学生のふれあいイベントなど応援イベントへの年間参加者数	変更なし						

大綱	政策			施策		施策指標	
	政策名称	目標 (めざすまちの姿)	現状と課題	施策名称	内容説明	指標名	目標値
大綱 8 行政経営	政策1 行政資源の効果的活用	限られた財源や人材などの行政資源が有効活用され、新たな行政課題に柔軟に対応しながら、持続可能な行政運営が行われているまち	他の自治体との広域連携や事務の効率化等の中核市移行に伴う行政における改善点や、職員の人材育成、職場の環境づくりの指針を追記。また、市民の利便性の向上や行政運営の効率化のためDXを推進する必要性や、組織づくりを進める必要性について追記。 【1-1 中核市移行】 【2-1 コロナの影響】 【2-2 コロナの影響 (DX)】 【5 個別計画等】	1 効果的・効率的な行政運営の推進	中核市としての権限の発揮や、業務プロセスの改善について追記	財政調整基金残高の標準財政規模に対する割合【数量→割合】	—
						公債費比率	変更なし
				2 公共施設の最適化	変更なし	一般建築物の個別市施設計画の策定が完了した割合	変更なし
						公共施設（一般建築物）の改修や建替えをした件数【補完追加】	—
				3 人材育成の推進	職員の研修内容に関する補記 他、ワークライフバランスの実現について追記	職員 1 人当たりの年間研修受講回数	変更なし
						年間の時間外勤務時間数が360時間以下の職員数の割合【新規】	—
				4 ICTの利活用	ICTの利活用場面の具体例とデジタルデバインド対策について追記した他、職員への研修等の情報セキュリティ対策について追記	ICTを活用した行政サービスの稼働休止時間	変更なし
						電子化した行政手続におけるオンライン申請件数の割合【新規】	—